

**GO 株式会社が展開するタクシー車両後部座席タブレットに、
キャッシュレス決済ソリューション「Anywhere D135」を導入開始
～タクシー業界の業務効率化を実現し、乗客の決済体験を向上～**

株式会社インフキュリオン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：丸山 弘毅、以下インフキュリオン）のグループ会社、株式会社リンク・プロセッシング（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齊藤 篤史、以下リンク・プロセッシング）は、タクシーアプリ『GO』を提供するGO 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島 宏、以下GO 社）が展開する後部座席タブレットにおいて、キャッシュレス決済ソリューション「Anywhere D135」を本格導入することをお知らせいたします。後部座席タブレットは今夏より本格導入が進み、全国7万台以上に搭載される予定です。



近年、移動やサービス提供のあり方は大きな変化をもたらしています。特に、非接触・非対面でのサービス提供に対するニーズが消費者の間で急速に高まり、同時に、労働人口減少に伴う事業者の省人化・業務効率化への喫緊の課題が顕在化しています。タクシー業界においても、ドライバーが運転に集中できる環境を整備し、乗客の利便性を向上させることが、持続可能なサービス提供のために不可欠となっています。このような背景から、GO 社では乗客自身がスムーズに決済を完了できる「セルフ操作」に最適化された決済端末として、2018年よりリンク・プロセッシングの決済端末を導入しています。

今回導入される決済端末「Anywhere D135」は、PIN 入力ボタンがない SPoC※1 端末であることから、タブレットのスクリーン越しにタッチ決済を行うことが可能となり、限られた空間での決済体験を劇的に向上させています。「Anywhere D135」のように、乗客自身が操作する端末に特化した SPoC 端末の採用は、国内において先進的な取り組みです。

※1 SPoC（Software-based PIN Entry on COTS(commercial off-the-shelf)）

クレジットカードや電子マネー情報を読み取る専用カードリーダーと、暗証番号などを入力するスマートデバイス上で動くアプリケーションで構成する決済手法のこと。

「Anywhere D135」の導入は、GO 社が目指す「移動で人を幸せに。」というミッションに向けた取り組みの一環であり、インフキュリオンおよびリンク・プロセッシングは本プロダクトを通じて、新しい移動体験の実現に貢献してまいります。

スクリーン背面部分に
Anywhere D135を搭載



■「Anywhere D135」の詳細はこちら

<https://www.linkprocessing.co.jp/service/product/d135.html>

【リンク・プロセッシング 会社概要】

会社名：株式会社リンク・プロセッシング

代表者：代表取締役社長 齊藤 篤史

設立年月：2010年4月1日

本社：東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 7F

URL：<https://www.linkprocessing.co.jp/>

【インフキュリオン 会社概要】

会社名：株式会社インフキュリオン

代表者：代表取締役社長 CEO 丸山 弘毅

設立年月：2006年5月1日

本社：東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 7F

URL：<https://infcurion.com/>

※本リリースは2025年7月28日現在の情報をもとに作成されたものです。今後、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。
※各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社インフキュリオン マーケティング&コミュニケーションズ本部 広報室

Tel : 03-6272-3924 Mail : pr@infcurion.com